

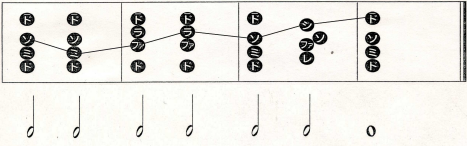
学習指導案 7 / 9

(1) 指導目標

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組むことができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)・発問 (★)	評価規準と評価方法			
導 入	0 音楽遊びをする。	○リズム模倣をして、楽しく学習が始められるようにする。				
	1 めあてをつかむ。	○初めて伴奏付きの音楽をつくることを伝え音楽づくりに対する意欲を高めさせる。				
展 開	つくりたい音楽のイメージをもち、和音の移り変わりに合う旋律をつくろう。					
	2 音楽づくりに見通しをもつ。 (1) 伴奏を聴いて、それぞれの伴奏から、それぞれの音楽のイメージについて考える。	○2つのパターンの伴奏を聴かせて、それぞれからイメージされる音楽について考えさせ伴奏も音楽を特徴付けることに気付かせるようにする。 ○和音を確認することで、和音の移り変わりはどちらの伴奏も同じことを確認しておく。				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 〈伴奏①〉 ・和音 ・付点四分音符と八分音符の軽快なリズム ・前奏付き </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 〈伴奏②〉 ・分散和音 ・シンクペーションのなめらかな音の動き ・前奏、後奏付き </div>	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">I</td> <td style="padding: 5px;">IV</td> <td style="padding: 5px;">I V7</td> <td style="padding: 5px;">I</td> </tr> </table>	I	IV	I V7	I
I	IV	I V7	I			
(2) 伴奏から感じ取ったことを基に、音楽づくりに見通しをもつ。	○2つのパターンの伴奏から感じ取ったことを発表させ、全体で共有できるようにする。 ○伴奏から感じ取ったことを基に、どのような音楽をつくりたいか考えさせ、自分の音楽づくりに見通しをもつことができるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ★今から2つのパターンの伴奏を聴きます。それぞれの伴奏から、どのようなことを感じますか。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ★どちらの伴奏を使って、どのような音楽をつくりたいですか。 </div>				
(3) 音楽づくりの過程を確認する。	○児童の活動が主体的になるように、児童の考えを引き出しながら、教科書で音楽づくりの過程を確認するようにする。					

展 開 ／ ま と め	3 和音に含まれる音を使って旋律をつくる。	○つくり方の例を示し、実際に演奏してみせることで、和音に含まれる音を使って旋律をつくれれば、和音の移り変わりに合った旋律になることに気付かせるようにする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 伴奏① 練習室 伴奏② 音楽準備室 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> 音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組もうとしている。 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 【関③ ワークシート・行動観察】 </div>
	(1) 階名を線で結ぶ。	○階名を線で結ばせることで、旋律の動きを視覚的に把握しやすくする。	
			
		○CDを準備して伴奏を聴かせ、つくりたい音楽のイメージを膨らませながら音楽をつくるができるようにする。	
	(2) 互いに聴き合いながら旋律を工夫する。	○二人で活動して、互いに感想や助言を伝え合うことができるようにする。 ●リコーダーでの演奏が難しい児童に対しては、指導者が演奏をし、イメージをつかむことができるようにする。	
4 全体で交流する。	○互いに工夫したところを発表させ、友達の工夫を自分の音楽づくりに生かすことができるようにする。		
5 次時の学習を知る。	○次時は、リズムを工夫することを確認し、音楽の仕組みである反復や変化について振り返らせ、次時への見通しをもたせる。 <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 2px 10px; display: inline-block;"> 反復・変化のつくり方 </div> 👉ここをクリック		
	○本時のめあてを振り返らせ、次時への意欲を高めさせる。		

〈評価規準と評価方法〉

音楽の仕組みを生かして音を音楽に構成することに見通しをもち、主体的に音楽をつくる学習に取り組もうとしている。【関③ ワークシート・行動観察】		
十分満足 (A) と判定する目安	おおむね満足 (B) と判定する目安	●リコーダーでの演奏が難しい児童に対しては、指導者が演奏をし、イメージをつかむことができるようにする。
つくりたい音楽のイメージをワークシートに書き、伴奏に合わせたり、友達の助言を生かしたりしながら、進んで旋律をつくっている。	自分のつくりたい音楽のイメージをワークシートに書き、友達の助言を聞きながら伴奏に合わせて旋律をつくっている。	